



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社高松コンストラクショングループ 上場取引所 東

コード番号 1762 URL <https://www.takamatsu-cg.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉武 宣彦

問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員グループ統括本部長 (氏名)井筒 廣之 (TEL) 06-6303-8101

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (アナリスト向け)

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	129,370	13.2	5,682	59.4	5,379	49.9	2,498	27.8
2019年3月期第2四半期	114,311	2.0	3,564	△34.2	3,588	△33.7	1,954	△30.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,755百万円 (19.8%) 2019年3月期第2四半期 2,299百万円 (△34.9%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	71	75	—	—
2019年3月期第2四半期	56	12	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	194,672	54.1	107,958	54.1	—	—
2019年3月期	190,590	54.6	118,126	54.6	—	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 105,408百万円 2019年3月期 104,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	22.00	—	38.00	60.00	—
2020年3月期	—	23.00	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	63.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	受注高		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	310,000	1.6	270,000	8.1	13,300	6.9	13,300	7.0	7,300	3.9	209	66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	38,880,000株	2019年3月期	38,880,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,061,303株	2019年3月期	4,061,303株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	34,818,697株	2019年3月期2Q	34,818,697株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、発表日現在で入手可能な情報にもとづいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
連結受注高・連結売上高の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、穏やかな成長が継続した前期に比較し、企業収益や住宅着工などが弱含みに推移するなど、足踏み感がより強く感じられるようになりました。国内建設市場も、通年見通しとしては高原状態の継続が予想されているものの、上半期の受注金額ベースでは民間、官公庁共に前年度比でマイナスが継続し、全体としても9.6%のマイナスとなっています。

このような状況の中、当社グループは2020年3月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画「Create! 2022」をスタートいたしました。

本中計では、「高成長・高収益企業を創る」「グループの新事業領域を創る」「多様性尊重・コンプライアンス重視の企業文化の創出」「シナジー効果の創出」「経済・社会や環境への価値創造」の5つの「創る」をキーワードに、中計最終年度の2022年3月期には売上高3,000億円、営業利益180億円を達成する計画となっています。この中で、好調が持続している東名阪の土地有効活用事業を中核事業とする高松建設グループが事業拡大を図るとともに、青木あすなる建設グループは安定成長しつつ、利益率の向上を図る計画です。

また、2019年8月6日開催の当社臨時取締役会において決議いたしました、当社の連結子会社である青木あすなる建設株式会社（東京証券取引所市場第一部、証券コード1865）の普通株式の全て（ただし、自己株式および当社がすでに保有していた株式を除く）を取得することを目的とする公開買付けはつつがなく完了いたしました。これにより19年にわたって当社と親子上場を継続してきた青木あすなる建設株式会社は、2019年11月11日をもって当社の完全子会社になりました。今後はグループ全体のさらなる一体的運営を実現するとともにシナジー創出の強化を目指してまいります。

上記の経営戦略および重要な施策のもと、当第2四半期連結累計期間の受注高は2期連続過去最高の145,998百万円（前年同期比0.9%増）、売上高も129,370百万円（前年同期比13.2%増）となり、売上高は8期連続増収、6期連続過去最高となりました。

利益につきましては、工事の順調な進捗により完成工事高が伸びたことに加え、選別受注の徹底および業務の効率化等に努めた結果、高松建設と青木あすなる建設を中心に増益となり、営業利益は5,682百万円（前年同期比59.4%増）、経常利益は5,379百万円（前年同期比49.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ27.8%増の2,498百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっており、本社管理費等の調整額△1,928百万円は外数となっております。

(建築事業)

受注高は76,256百万円（前年同期比10.1%減）、完成工事高は68,560百万円（前年同期比38.5%増）となり、セグメント利益は3,887百万円（前年同期比82.9%増）となりました。

(土木事業)

受注高は58,566百万円（前年同期比21.9%増）、完成工事高は49,634百万円（前年同期比6.5%減）となり、セグメント利益は3,061百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

(不動産事業)

不動産の売買および賃貸等による売上高は11,175百万円（前年同期比4.9%減）となり、セグメント利益は662百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,082百万円増加し、194,672百万円となりました。

その主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が5,060百万円、現金預金が2,327百万円減少した反面、東京の新社屋用土地取得などに伴い、有形固定資産が9,855百万円、新規連結子会社の取得に伴い、のれんが670百万円増加したことなどによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ14,250百万円増加し、86,713百万円となりました。

その主な要因は、短期借入金11,200百万円、未成工事受入金が3,863百万円増加したことなどによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ10,168百万円減少し、107,958百万円となりました。

その主な要因は、当社連結子会社である青木あすなる建設株式会社の普通株式の公開買付けを実施したこと

により、非支配株主持分比率が低下し、非支配株主持分が11,557百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益 2,498百万円の計上と配当金の支払1,323百万円などの相殺により、利益剰余金が1,175百万円増加したことによるものです。

以上の結果、純資産の額から非支配株主持分を控除した自己資本の額は105,408百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント減少し54.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日付で公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	62,074	59,747
受取手形・完成工事未収入金等	72,219	67,159
販売用不動産	10,153	10,597
未成工事支出金	1,594	2,991
不動産事業支出金	631	719
未収入金	6,262	4,561
その他	1,369	2,197
貸倒引当金	△106	△108
流動資産合計	154,199	147,864
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,429	5,669
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	1,273	1,266
船舶（純額）	967	934
土地	13,599	23,955
リース資産（純額）	185	201
建設仮勘定	1,046	328
有形固定資産合計	22,502	32,357
無形固定資産		
のれん	1,521	2,192
その他	542	591
無形固定資産合計	2,063	2,783
投資その他の資産		
投資有価証券	5,276	5,149
繰延税金資産	3,802	4,056
その他	3,029	2,738
貸倒引当金	△283	△277
投資その他の資産合計	11,825	11,667
固定資産合計	36,391	46,808
資産合計	190,590	194,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	30,974	30,545
短期借入金	—	11,200
未払法人税等	1,737	2,338
未成工事受入金	15,341	19,204
完成工事補償引当金	311	330
工事損失引当金	79	45
賞与引当金	3,099	3,833
その他	8,214	6,352
流動負債合計	59,757	73,851
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	256	256
繰延税金負債	14	36
船舶特別修繕引当金	75	70
退職給付に係る負債	10,903	10,928
その他	1,455	1,570
固定負債合計	12,706	12,862
負債合計	72,463	86,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	524	759
利益剰余金	107,097	108,272
自己株式	△7,483	△7,483
株主資本合計	105,138	106,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635	628
土地再評価差額金	△1,266	△1,266
為替換算調整勘定	5	△59
退職給付に係る調整累計額	△493	△442
その他の包括利益累計額合計	△1,119	△1,140
非支配株主持分	14,108	2,550
純資産合計	118,126	107,958
負債純資産合計	190,590	194,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	102,566	118,194
不動産事業売上高	11,745	11,175
売上高合計	114,311	129,370
売上原価		
完成工事原価	89,642	101,829
不動産事業売上原価	10,032	9,485
売上原価合計	99,675	111,315
売上総利益		
完成工事総利益	12,924	16,365
不動産事業総利益	1,712	1,690
売上総利益合計	14,636	18,055
販売費及び一般管理費	11,072	12,372
営業利益	3,564	5,682
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	64	50
受取賃貸料	30	38
その他	27	36
営業外収益合計	122	125
営業外費用		
支払利息	93	79
支払手数料	0	333
その他	4	15
営業外費用合計	98	428
経常利益	3,588	5,379
特別利益		
固定資産売却益	36	3
投資有価証券売却益	43	—
受取保険金	—	15
特別利益合計	79	18
特別損失		
投資有価証券売却損	17	—
投資有価証券評価損	—	92
訴訟関連損失	31	61
たな卸資産評価損	—	305
その他	27	25
特別損失合計	77	485
税金等調整前四半期純利益	3,590	4,912
法人税、住民税及び事業税	1,291	2,374
法人税等調整額	79	△236
法人税等合計	1,370	2,137
四半期純利益	2,219	2,775
非支配株主に帰属する四半期純利益	265	276
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,954	2,498

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,219	2,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△14
為替換算調整勘定	△2	△65
退職給付に係る調整額	68	60
その他の包括利益合計	79	△19
四半期包括利益	2,299	2,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,998	2,476
非支配株主に係る四半期包括利益	300	278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

連結受注高・連結売上高の状況

区分	前第2四半期累計 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	
受注高	建築事業	84,846	58.7	76,256	52.2	△8,589	△10.1
	土木事業	48,039	33.2	58,566	40.1	10,526	21.9
	建設事業計	132,886	91.9	134,822	92.3	1,936	1.5
	不動産事業	11,745	8.1	11,175	7.7	△569	△4.9
	合計	144,631	100.0	145,998	100.0	1,367	0.9
売上高	建築事業	49,484	43.3	68,560	53.0	19,075	38.5
	土木事業	53,082	46.4	49,634	38.4	△3,447	△6.5
	建設事業計	102,566	89.7	118,194	91.4	15,628	15.2
	不動産事業	11,745	10.3	11,175	8.6	△569	△4.9
	合計	114,311	100.0	129,370	100.0	15,058	13.2